

# MOVE YOUR HEART!

## 進路通信第3号

6月になって梅雨に入るとともに前期中間考査が始まり、昨日で試験は終わりました。手応えはありましたか。ベストを尽くせましたか。ベストを尽くすためには体調管理も肝心です。失敗があれば次に活かしてください。大丈夫です。まだ始まったばかりですから。

1年生のみなさんにとっては初めての考査でしたね。知識を問う問題から思考力や洞察力を問う問題まで、幅広く出題されたことと思いますが、それらすべてが「新課程」で要求される「学力」です。また受験には体力も必要です。いい意味で試験に慣れていってください。

2年生のみなさん、自覚はありますか。「えっ?なんの?」という人はいませんか。ちやほやししてくれたり、叱ってくれたりする先輩は目の前から遠ざかっているでしょう。これからは自分の力で切り開いていくのです。自分が伸びるのか、伸びないのか、この1年は大きいですよ。悪い意味での試験慣れをしないでください。15日の進路講演会をお楽しみに。

3年生のみなさんは目の色が変わってきましたね。先日の進路ガイダンスでのみなさんの様子からもそれが伝わってきました。今回の考査でも対策が立てやすい問題は総じてよくできていました。まずはそこからです。加えて課題や小テストへの取り組み、授業への姿勢もさらによくしていきますよ。教室内の雰囲気ピリッとしてくると相乗効果が出てきますよ。

### 《当面の進路に関する行事》

- 6 / 8 (木) 1年生普通科ジブラボ・ビ情科わくわく調査 (進路適性検査)
- 15 (木) 2年生進路講演会 山内太地氏による講演会
- 17 (土) 看護模試 (希望者・自宅解答) 予定
- 18 (日) 全商ビジネス計算実務検定
- 19 (月) ~ 進路希望調査実施
- 25 (日) 全商簿記実務検定
- 7 / 1 (土) 1, 2年生ベネッセ学力テスト 3年生進研記述模試
- 2 (日) 全商ビジネス文書実務検定
- 3 (月) 求人受付開始

**\*3年生に日程変更 (年間行事予定表からの変更) の連絡です。**

- ・指定校推薦開示は9月4日 (月) から8月25日 (金) に変更します。
- ・駿台ベネッセ共テ模試は9月8日 (金) と9日 (土) の予定でしたが、9月8日 (金) と9月10日 (日) に変更します。今後は9月10日 (日) に予定を入れないでください。現時点ですでに予定が組んである場合は担任の先生に相談してください。(9月9日 (土) に本校で英語のスピーチコンテストが開催されるためです)

### 《大学の昔、今、これから》

「少子化対策」という言葉が聞かれますが、受験人口もずいぶん変化してきました。

受験人口のピークは1992年度 (現在の50~51歳の人) が18歳だったときです) で、121, 5万人ほどでした。その年の大学 (短大を含む、以下同じ) の入学定員は67. 6万人ほどでした。単純な倍率は1. 80です。特例措置がとられ最終的な入学者数は79. 6万人ほどでした

がそれでも受験生の内40万人はその年に「大学」と名のつくところに入れなかったこととなります。進学率は3割台（女子に限れば1割台）だったことと考え合わせると、このころは「大学に入る」ことそのものの価値が高かったといえます。

2023年度はどうだったでしょうか。受験人口は65.0万人ほど、入学定員は66.5万人ほどで倍率は0.95です。実際の入学者は59.8万人でした。受験人口はピーク時の53%に減っています。進学率は上昇しましたが数字上は「全入」です。誤解を恐れずに言えば大学に進学することだけでは大きな価値がないということになります。

2006年度に1.2倍を割り、2022年度に1.0倍を割った倍率（受験人口／入学定員）は今後も大きく変わることはないでしょう。

大学、特に私立大学には「学問研究の府」という側面と「営利団体」という側面があります。現在、四年制大学の4割以上が定員割れとなっているなかで、すべての大学が新しい経営戦略を立てて受験生にアピールしています。進学後に何をするか、卒業時にどんな人物になっているかが問われます。「大学全入時代」の後を見据えて、賢い選択をしたいものですね。

#### 《雑感》

先日1年生のスタサポレクチャーで講師の方が最後にこんな話をされた。

「毎日86,400円がもらえて、使おうが使うまいが1日したらそれは捨てられるとしたら、おそろくみなさんはなんとかして毎日使い切ろうとするでしょうね。」

「86,400というのは1日の秒数なんです。毎日全員に無条件に与えられているのです。何もせずドブに捨ててしまう人もいれば、なんとかして有効に使おうとする人もいるでしょう。それをどう使うかはあなた次第です。」

人間は機械ではないので86400すべてを活用することはできない。「なにもしない贅沢」「無駄も必要」「ゆるい時間に価値がある」と私は考える。ただ、それは普段密度の高い生活をしているからこそ。「自分へのご褒美」とばかりに都合のいい緩さを許していないか、考えさせられた。

#### 《おまけ》

では、思考力を問う入試問題の例を。

・ $n$ を2以上の自然数とする。 $n$ が素数または4のとき、 $(n-1)!$ は $n$ で割り切れないことを示せ。また $n$ が素数でなくかつ4でもないとき、 $(n-1)!$ は $n$ で割り切れることを示せ。

（2016年東京工業大）

・ナポレオンによるドイツ支配からドイツ帝国の誕生に至るまでの歴史的過程を、オーストリアの役割に留意しながら、以下の語句を列記した順に用いて250字以上300字以内で記述しなさい。「ライン同盟 ウィーン体制 1848年革命 ビスマルク」（2016年早稲田大）

・「自然破壊によって人間も動物も住めなくなった場所は、そのような考え方がもたらした悲劇的結末である」とはどういうことか、本文全体の趣旨を踏まえた上で、100字以上120字以内で説明せよ。（2012年東京大）

3年生の現代文の教科書に「環境と心の問題」（河野哲也）という文章があるがそれと全く同じ箇所が出題された（驚いたことに完全に一致している）。漢字の書き取りを除いて記述問題が5問出されたが、その5問目がこれ。